

～ ホテルの客室の壁が、そのままアーティストのキャンバスに ～
Artist in Hotel “アーティストルーム 妖怪” が完成しました。
妖怪たちが遊ぶ、どこまでも蒼い空。描かれているのは、人を幸せにする妖怪です。

パークホテル東京（汐留メディアタワー内）は、客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。その第5弾である「アーティストルーム 妖怪」がこのほど完成いたしました。※注1

「Artist in Hotel」とは、アーティスト自身がホテルに滞在し実際に施設やサービスを利用しながらその場の空気感を感じ取り、ホテルの客室を作品として制作すること。「日本の美意識」を大きなコンセプトに据え、部屋の壁紙に直接絵を描いたり、原画やオブジェを壁に設置したりと、出来上がったお部屋は丸ごと、アーティストの世界観が伝わるお部屋となります。「相撲」や「禅」といった、日本にまつわるテーマで制作され、主に海外からのお客様に向けて販売中です。

第5弾は「妖怪と空」をテーマに日本画家の馬籠伸郎氏が、3月16日から制作をスタート、8月4日に完成いたしました。※注2

「妖怪と空」をテーマに選んだ馬籠氏は、ベッドに寝た時に一番空がひらけて見える3125室を、この作品のために選びました。部屋に入ると、まず目に入るのはにっこりと笑う大きな河童。楽しそうな妖怪たちが、空に向かって列を作ります。空＝天井のシーリングライトを中心に渦巻くのは、東の青竜・南の朱雀・西の白虎・北の玄武の四神の形をした雲。部屋を守ってくれるようにという願いが込められています。そして空に帰っていた妖怪は、またお部屋にある丸い鏡からずりりと出てきて、窓枠を通りぐるりと一周して河童のアーチをくぐりまた空に帰っていく…妖怪一人一人を、時間をかけて丁寧に描いたため、制作期間としては4カ月を超える作品となりました。

描かれているのは、人を幸せにする妖怪です。

「アーティストルーム 妖怪」に、皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。



アーティストルーム 妖怪 内観

「アーティストルーム 妖怪 Artist Room Yokai」概要

宿泊開始：8月10日(日)より WEBサイト上(英語/日本語)、またはお電話にて
部屋タイプ：アーティストルーム ダブル 広さ：22平米 ベッドサイズ：1,600×1,950
販売料金：1室2名利用 30,000円(税金・サービス料・宿泊税別)
《特典》2泊割引10%・朝食無料サービス付き ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100

特設サイトURL <http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

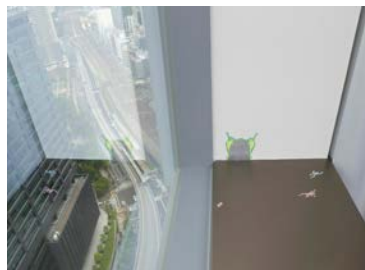
【協力】：羽黒洞 Hagurodo (<http://www.hagurodo.jp>) 【総合プロデュース】：creative unit moon (<http://www.moooon.jp>)



この鏡から、妖怪が出てくる



空に向かう、妖怪たちの行進



窓枠にも、妖怪トンネル発見



河童のアーチをくぐる

馬籠伸郎 Nobuo Magome

1976年東京都生まれ 多摩美術大学大学院修士課程日本画専攻修了。一貫して日本の妖怪をテーマに制作。古来より伝承されてきた妖怪を、自身の世界に落とし込み、現代的な妖怪画を制作している。

注1 部屋番号は制作スタートした順番になっているため、第5弾となっていますが、出来上がりの順番は8番目です。

注2 当ホテルに滞在したり、通ったりしながら制作いたしました。

★ 8/18 現在、別のアーティストが「金魚」、「竹」、「銭湯」の3室を制作中です。
制作中のお部屋の見学・取材も承ります。



制作中の馬籠氏

パークホテル東京は2003年9月1日開業、ドイツ・ベルリンに本社を構える「デザインホテルズ」に東京で初めて加盟しました。画一的なインテリアやサービスを提供するのではなく、こだわりを持った、個性的で創造的なおもてなしを志しております。経済産業省が推進する日本文化を海外に広める「クールジャパン」事業のひとつである「CREATIVE TOKYO 構想」に賛同し、東京を盛り上げるクリエイティブイベントの会場提供などで大きな役割を担っています。

<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：早乙女

Email : sotome@shibaparkhotel.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー
TEL:03-6252-1111(代) FAX : 03-6252-1001 PHS : 070-5368-7440